



祥洲



祥洲 / Leicaで撮る東寺と、空海を書す 第2集_2021夏

離見

祥洲 臨書作
空海 / 真言付法傳より「離見」
客観的な視点を持つこと
自分の姿を距離を置いて観察する
世阿彌の能楽論

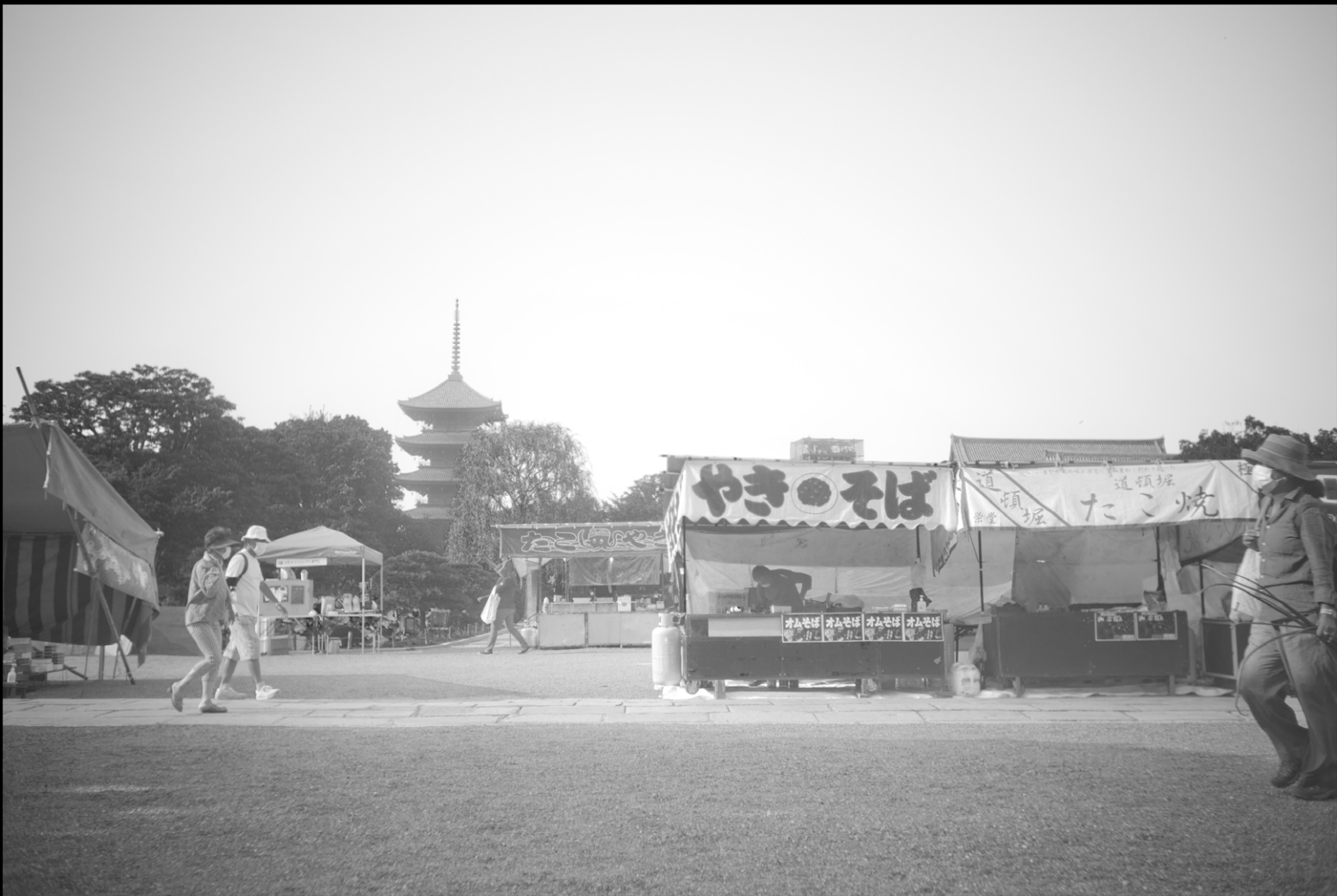






















祥洲 臨書作(飛白体)
空海/真言七祖像/善無畏より「梵」
清浄で神聖なもの、宇宙の根本原理
飛白体…中国で始まった書体の一つ











本作品集は、2021年5月25日発行の同名タイトルPDF形式デジタル作品集第2弾。「さまざまな書のカタチ展」(2021.9.21~)に合わせ、全て新作による続編を発表させていただきます。

構成内容は前作同様、仕事場である祥洲書院/墨翔会京都教室から徒歩5分程のところにある世界遺産「真言宗総本山教王護国寺 東寺」をライカ製カメラで撮影、空海を憧憬する私の拙い書も収録しています。

足繁く東寺に通い、撮影ポイントを順に回ります。今回最も時間をかけたのが蓮の撮影で、蕾の段階から開花まで追い続けました。台風の影響で蓮の葉が翻ることを予想して出かけた日は約2時間、強風を待ちました。望む状況に出会えることは極僅か。セミや鷺のカットも、諦めずに通い続ける中で自力と他力が重なり合った瞬間と言えるでしょう。これらの瞬間に出会えたことに感謝です。

空海の手研究は勿論、東寺での撮影は現在も続けています。またいつか続編を皆様に御覧いただけますように日々精進し、美を追い求めて生きていきたいと思えます。

2021.9.5 祥洲記

祥洲/Shoshu

6歳から書を読み、立命館大学在学中の19歳で書家デビュー。伝統書のみならず独自の墨美表現を次々に発表、現代の書の先端を走る書家の一人。更にデジタルアート、写真、映像などジャンルを越えて活動。日中韓など五カ国共催展や美術館展、国内外での受賞多数。

小学校図画工作教科書に作品収録、「伊勢神宮」「日光東照宮」奉納書、「メルセデス・ベンツEクラス」「アディダス×EXILE/HIRO」などのCM、「NHK大河ドラマ/軍師官兵衛」題字・スタジオ美術、ヨーロッパ有数のACTレーベルが世界発売しているCDアートワークなどでも知られる。

写真表現は書と同じく19歳から取り組み、中国黒龍江省美術館が作品収蔵(2001)するなど書と共に発表を続けている。

2019年には「フェラーリ/Ferrari」公式映像に出演、世界公開される。2021年2月から「NHK国際放送」が世界公開用の番組制作を開始。今秋に約30分の番組放映を予定している。

墨翔会代表、墨集団翔Sho主幹、SHO Art-Office代表。1958年京都市生まれ京都市在住。



↑FUJIFILM X-Pro2+XF60mmF2.4R Macroにて撮影

撮影機材

Leica M-P (Typ240)

+SUMMICRON...M50mm f/2 沈胴式1956年製+M50mm & M35mm 現行

+ELMAR L35mm f/3.5 1936年製

+ELMARIT M90mm f/2.8 フード組込み 2002年頃

書作品 用具

兼毫小筆、木へら、祥洲自家製墨、端溪古硯、紅星牌重単宣、ケント紙
文字サイズ 約4cm、梵のみ 約9cm

祥洲 公式サイト
祥洲の墨の世界
shoshu.jp

写真+書+制作:祥洲

2021.9.5発行 ©Shoshu2021

